

しゃきよう

しゃきよう

社協は**社会福祉協議会**の略称です。みなさん「しゃきよう」と呼んでください。
社協はだれもが安心して暮らせるまちづくりをすすめています。

手足の関節が
曲がりにくいね



宮浦小3年生 高齢者の擬似体験

よりぞう気持ちを
つくる一年に

もくじ

- 新年のごあいさつ、赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございます・・・②
- 第五次地域福祉活動計画、スローガン3「まるごと一丸」となって……………③
- 住民同士の支えあい活動を応援しています
～生活支援コーディネーターが地区の活動をご紹介します～④⑤
- やさしいきもちをありがとう、お知らせ、寄付者紹介……………⑥
- 新しい取り組み……………⑦
- 暮らしの声、ちがうところはどこ？、プレゼントクイズ……………⑧



誰もが安心して暮らせる福祉のまち やまがた



社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

〒990-0832
山形市城西町二丁目2番22号
TEL 023-645-8061 FAX 023-645-9236

新年のごあいさつ

社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

会長 渡部 正美

皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのことと心からお慶び申しあげます。

日ごろより、本会の事業運営に多大なるご支援とご協力を賜り、また地域福祉の推進にご尽力いただき、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活が著しく制限された年となりました。それまで行っていた、顔を合わせた交流がしづらくなったことにより、孤立や引きこもりが増加し、あらためて地域のつながりやボランティア活動の大切さを実感した一年でもありました。今後、ワクチン接種や治療薬の普及の下に、一日も早く感染が収束し、地域における様々な活動が再開できる日が来ることを願っております。

地域社会の中で誰もが安心して暮らせるよう、「身近な地域の中でみんながつながるまちはやまがた」を目標に、本会役員一丸となって地域福祉活動の推進に、より一層努力してまいります。

本年が、皆様にとって笑顔と元氣あふれる一年となりますよう、心からご祈念申しあげ、新年のごあいさつといたします。



赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございます

各学校や幼稚園・保育園、また企業等の職場でも募金のご協力をいただきました。



南山形幼稚園・南山形すくすく保育園での受け取りの様子



赤い羽根のお話をします。

学校募金



イオン山形南店

募金箱設置のご協力を
いただきました。

企業の取り組み



このみ保育園での受け取りの様子

大事に使わせていただきます。

第五次 地域福祉活動計画

基本目標 身近な地域の中でみんながつながるまちやまがた



今回は
スローガン3の
詳細を
ご紹介します

スローガン3
わたし・わたしは、
まるごと一丸となって活動します。

どのような課題があってもこのスローガンになったの？

- 一つ目は、
困りごとがあっても様々な相談窓口があり、どこに相談していいかわからない。
- 二つ目は、
自分に困ったことがあってもなかなか言い出せない。
- 三つ目は、
他者に目を向け助け合う「おたがいさま」の気持ちも希薄化しつつある。
障がいや病気を理解し、他人事にせず、みんなが一丸となって支えあえる地域を目指していきましよう。

どんな方向性で活動すればよいのでしょうか。

自分ができること、自分の活動範囲をほんの少しでも広げていきましよう。

一人一人が、他人を差別したり仲間外れにせず、みんなが互いに助け合える地域づくりを目指します。

それぞれ専門的役割や機能を十分に発揮し、多分野・多機能とも連携しながら活動を進めていきます。

【1年目にあたる今年度の活動目標】

身近な地域で「どこに相談するのか」わかりやすくし、「気軽に相談できる」（受けた相談をつなぐ）体制が実施できるように進めます。

市社協ではこんなことを進めます。

- ① 地区住民への福祉活動の意識啓発
- ② 世代や課題を限定せず、まず受け止めることができる体制づくり

地区では次のように進めます。

- ① 「我が事・丸ごと地域づくり推進事業」の実施
- ② 町内会福祉部の設置推進
- ③ 地区社会福祉協議会事務局体制の整備
- ④ 生活支援コーディネーターや福祉まるごと相談員との連携
- ⑤ 各相談支援の専門窓口との連携強化（地域包括支援センター・障がい者相談支援センター等）

第五次地域福祉活動計画の説明は今回で終了です。

高齢者の権利の行使

「選挙に行こうっ！」

社会福祉施設等連絡会報告

小規模の施設（送迎車両がない）の入所者のため、投票所までの移送を別施設が送迎する支援が行われました。

「みんな、選挙に参加しますか？」高齢者の権利行使という大事なテーマを掲げ、昨年10月の衆議院議員選挙に際して不在者投票所の開設対象になっていない高齢者施設入所の方のため、施設間の連携・協力の取組が行われました。

「入所者を連れていきたいが車がない…」という施設に対して、他の施設が送迎をすることで入所者を選挙にお連れするということが実現しました。

住宅型有料老人ホームこころ（桜田南）の入所者11名（車いす6名）を、ながまち荘車両2台とあかねヶ丘ケアセンター車両1台、計3台で、事前に社協ボランティアセンターの行事用保険に加入していただき、また基幹型支援センターと選挙管理委員会と連携、調整し期日前投票を実施。

高齢者一人一人の権利を護れる山形市を実現するには、このような具体的な連携が大切です。



活動を応援しています

が地区の活動をご紹介します～

鈴川
地区

地域と共に、防災訓練

グループホーム鈴川は大野目第一町内会にあり、開設当初から町内の方より様々な支援や協力をいただいています。その中の一つに、防災協定があります。グループホームでは18名の利用者が生活しており、緊急時の応援は何より心強くありがたく感じています。防災訓練は年に2回実施していますが、そのうちの1回は地域の防災訓練と合同で実施させていただいています。今年も、避難訓練後、地域の危険場所の確認や水害の備えについて勉強会をしました。今後も地域の方との連携を強くし地域に開かれた施設を目指していきます。



西山形
地区

子育ておしゃべりサロンへようこそ！

今年度新しくなった西山形コミュニティセンターの和室を会場に、10月13日待望の子育ておしゃべりサロンがスタートしました。

主任児童委員さんを中心に、地区の方々が笑顔でお出迎え。あいにくの雨ではありましたが、7組の親子が遊びに来てくれました。真新しいおもちゃを手に、初めて会うお友達を興味深そうにのぞき込んだり、「同じ月齢くらいかな？」とママ同士の会話が始まったり。終始和やかな雰囲気、親子のお友達づくりの場になっていたようです。

【開催日】：毎月第2水曜日 10：00～11：30

【対象】：0～入園前のお子さんとお親

(家族、日中いっしょに過ごしている方)



第六
地区

防災をテーマに話し合いました。

第六地区では、地域包括支援センターふれあいと市社協共催で『圏域内事業所情報交換会』を実施しました。子どもと障がい分野の事業所と地域の関係者のみなさんが集まり、“防災”をテーマに、事業所の取り組みや地域との関わり、ちょっと困っていることなどを情報交換しました。

コロナ禍でも事業所同士が顔を合わせ、活動のヒントを得たり、地域ともつながる大切な機会となりました。



南山形
地区

地区住民の幸せを願って福祉をつむぐ

11月の「南山形の福祉をつむぐ会」では地域で心配される児童の食や生活リズム等について話し合いを行いました。つむぐ会は、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、振興協議会、福祉協力員の各代表と包括支援センター、生活支援コーディネーターが集まり、南山形地区の福祉をよりよいものにするため、毎月話し合いを行っています。高齢者問題だけでなく、児童、障がい者と地区に住む生活課題のある方全ての幸せを願い、日夜活動を行っています。



桜づつみ健康体操

金井地区内の認知症カフェ“カフェらくせい”にて、『桜づつみ健康体操』が披露されました。

カフェらくせいは、こころのクリニック山形を会場として平成30年から開催されています。コロナ禍においても、感染予防に留意し活動しています。

『桜づつみ健康体操』は、地元住民によって作られた“桜づつみ”という歌を使用した体操です。

カフェ主催者の「地元の歌を使って体操を考案してほしい」という思いをきっかけに、同クリニックの理学療法士が振付を担当したことで誕生しました。

金井地区発祥の健康体操として、今後市内外に広まっていったらいいですね！



住民同士の支えあい

～生活支援コーディネーターが

移動困難は山形市全域に関わる問題です。郊外から中心部への長距離移動の問題もあれば、買い物等できる場所まで歩いて行けない等の近距離の問題もあります。

これまで移動困難は行政の問題と捉えられがちでした。

しかし最近では、福祉施設やバス・タクシー会社等の協力による様々な工夫や、行政を巻き込んだ勉強会など、自ら課題に向かい合う地域が増えています。

移動支援は車両や運転手の確保、事故、法の規制等たくさんの壁があります。壁を乗り越えるには地域の皆さんの応援が不可欠です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

出羽
地区

ひとあひ処 合

週3回開かれる住民主体の居場所『ひとあひ処 合』で、タクシーによる移動支援が試行的にスタートしました。利用者の方からの「カタログの写真を見て買い物すると失敗する事も…」「娘に頼めば買ってきてもらえるけど、たまには自分の目で見て選んで買い物したいな」そんな声から、山形地区ハイヤー協議会様、山形市長寿支援課と生活支援コーディネーターとが話し合いを重ね、住民主体の居場所から地区内のスーパーを結んだ「買い物合」が運行しています。まだまだ試行段階ですが、住民のみなさんが、住み慣れた地域でいきいきと生活していくための移動支援のひとつになればと思っています。



飯塚
地区

「バスの乗り方講座」で路線バス体験！

飯塚地区地域福祉推進会議での声を受けて、「飯塚の交通課題を考える会」が発足しました。「運転ができなくなってもバスに乗り慣れていれば安心なのは」「飯塚から路線バスがなくならないようにもっとバス利用者を増やしたい」等の思いから、この会で「バスの乗り方講座」を企画しました。飯塚住宅前バス停を起点に5か所のバス停から計16名がバスに乗り、市役所到着。全員で文翔館を見学後、自由に七日町を散策したり、車いすで利用できるトイレや駐車場を確認したり、期日前投票してきたりと、各々の目的を達成し、バスで帰ってきました。



東沢
地区

「上宝沢あおぞら応援隊」のご紹介

上宝沢では、以前からあるお互いさまの助け合いは大切にしつつ、地域みんなで支え合いながら住み慣れた地区でいつまでも暮らしたいという思いから、地区内でちょっとした支援や公共の場所の整備等の活動をするボランティア「上宝沢あおぞら応援隊」が17名で組織されました。

10月20日(水)は記念すべき1回目の活動でした。お揃いの手づくりの腕章を装着した10名のメンバーが依頼のあった一人暮らしの高齢者のお宅を訪問し、お庭の草刈りをしました。途中強い雨が降ることもありましたが、力を合わせて頑張り、すっきりとしたお庭に蘇りました。こんな助け合いの輪が地域に広がるのはうれしいですね。



金井
地区

金
ら
く
が
初
カ
ニ
ッ
に
お
『
と
カ
う
思
こ
金
素
敵

お役立ちガイドブック更新しました

今年度の「山形市生活お役立ちガイドブック」を作成しました。

このガイドブックは、買い物や家事など、生活にちょっとした支えが必要となったときに役に立つ情報を冊子にまとめたもので、平成30年より山形市役所と共同で作成しています。買い物や家事の情報の他に、地区のお出かけの場や困ったときの相談窓口なども掲載されています。こちらの冊子を利用し、地域にある資源を知ってもらう事で、皆様が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく生活を続ける為のお役立てになれば幸いです。

山形市生活お役立ちガイドブック

検索



企業や団体の地域貢献活動

〜やさしい気持ちをお返し〜

山形市社会福祉協議会は民間の社会福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。昭和26年（1951年）に制定された社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき、設置されています。高齢者や障がい者、児童はもちろんで、「誰もが安心して暮らせる福祉のまち・やまがた」を目指し、住民の方とともに地域福祉活動を推進しています。

「山形市社会福祉基金」は個人、団体、法人の寄付によるもので、民間の社会福祉の振興と、地域福祉の増進に役立っています。また、「山形市善意銀行」では、現金、物品、労力、技術等を受け付けています。預託された現金、物品等は福祉の向上のために払出を行っています。今号では活動事例をご紹介します。

「フードドライブで食品を寄贈」

●生活協同組合共立社

昨年5月に生活協同組合共立社様よりフードドライブのご寄付をいただきました。宅配の申込時に自分の買い物にプラスワン！組合員のみなさまの善意から集まったカップラーメンやレトルトカレー、インスタントスープ、おやつポップコーンなどがたくさん。生活に困りの方々の支援のため、大切に活用させていただきます。



「音楽の贈りもの」

●山形フィルハーモニー交響楽団

山形フィルハーモニー交響楽団より第60回記念定期演奏会の招待券を20枚いただきました。11月6日市民会館大ホールに響いた美しい音色を堪能しました。当日は子ども食堂の代表者と防災士によるSDGs対談も行われました。



「たくさん食べてね!」

●(株)荒正

昨年8月に(株)荒正様より畑でとれたじゃがいもをコンテナ6つ分いただきました。じゃがいもは希望された市内の子ども食堂・地域食堂へ。カレーライスや肉じゃが、ポテトサラダの食材として美味しくいただきました。



お知らせ

～定年退職後も豊かな生活を～

「定年後も社会とつながる講座」

定年退職を控えた方すでに退職している方など、地域活動への参加がランティア活動、介護予防などの生涯現役社会に向けた講座を行います。

日時 令和4年2月12日(土)・19日(土) 午前10時～11時30分

会場 山形市総合福祉センター3階会議研修室1(山形市城西町2-22)

内容 1日目 「テーマ打合せ中」

講師 佐藤紀之氏

(山形市立図書館職員、元中学校長、よのなか科マスターティーチャー)

2日目 「社会とつながり方紹介」

対象者 山形市在住の方。定年退職を控えた方、すでに退職している方。地域の支えあい活動に興味のある方。

定員 20名 **受講料** 無料 **申込締切** 令和4年1月31日(月)

お問合せ・お申込み先

山形市社会福祉協議会ポランティアセンター

電話 023・645・9233

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止になる場合があります。

やさしい気持ちで「ありがとう」寄付者紹介

みなさんからの「厚志」に対して、心より御礼申し上げます。ご寄付につきまして、令和3年9月1日から令和3年11月30日までの分を掲載いたします。(敬称略・順不同)

山形市社会福祉基金

- (株)バーコーポレーション
- めん蔵+GOMAZO
- 亞兵屋 山形本店
- 山形フィルハーモニー交響楽団
- 西下条町内会婦人部
- 丹野邦子
- 金井訓子
- 山形農業協同組合
- 中央宮農センター
- 社会福祉法人輝きの会
- 阿部みよ
- 匿名(12件)

山形市善意銀行

- スパー田劇場山形店
- (株)ニラク吉原店
- (株)カネの相沢王ハル山形店
- 大和ハウス工業(株)山形支店
- (株)Tmorio
- 東洋羽毛 北部販売(株)
- (一般社団法人)日本造園建設協会 山形県支部

新規賛助会員

- 第一生命保険(株)
- 新山形宮業オフィス

寄付および賛助会員の募集
住民参加のまちづくりを進めるため、ご支援のほどよろしく願います。

会費

- 個人 三、〇〇〇円以上
- 団体 一〇、〇〇〇円以上
- 法人 一〇、〇〇〇円以上

ご協力下さる方へ

恐れ入りますが、次の連絡先までご連絡ください。必要の手続きをお伝えします。

電話 023・645・9230

FAX 023・645・8015

新型コロナウイルス感染症の影響による 休業や失業で生活資金が必要な皆様へ

新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象として、生活福祉資金貸付制度における特例貸付をおこなっております。

緊急小口資金

- ・一世帯20万円以内 申請は令和4年3月末まで

総合支援資金

- ・単身世帯 月15万円以内 原則3カ月以内
 - ・二人以上世帯 月20万円以内 原則3カ月以内
- いずれも申請は令和4年3月末まで

※また、生活困窮者住居確保給付金・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請受付も令和4年3月末まで延長になっております。

詳しくは

福祉まるごと相談係までお問い合わせ下さい。

電話 023・676・7223

ひきこもり相談窓口のご案内

山形市社会福祉協議会では、令和3年4月よりひきこもり相談支援員を配置し、生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、ひきこもり生活者及びその家族への相談支援をおこなっております。秘密は厳守されますので安心してご相談ください。

福祉まるごと相談係

電話 023・676・7223

新しい取り組み ～コロナ禍の中で～

「オンラインでつながろう」

～Zoomでボランティア交流会～

令和3年10月25日(月)に、オンラインでつながろう！Zoomでボランティア交流会を開催しました！

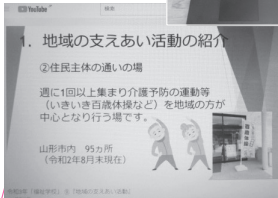
例年、ボランティアの皆さんや福祉施設の方から来ていただき交流会をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、初の試みとして皆さんとはオンラインで繋がってみました。パソコンの画面に向かって2つのサークルの皆さんから特技を披露していただきました。1つ目は「福和の会」の腹話術です。二人のかけあい話がとても上手でした。2つ目は「山形バルーンボランティア虹」のバルーンアートを披露していただきました。どちらも、画面越しでしたが、新しい生活様式での工夫として、Zoomであっても特技を披露できる自信が持てました。

事業所では感染対策のため訪問者の出入りが制限されており、Zoomなどの活用により特技披露ができることを周知していきたいと思えます。

「Withコロナ」の中で今までと違わないくらいの披露ができたことに各サークルのメンバーは自信を持ちました。今後とも施設の皆さんとボランティアが相互理解を図り、利用者の皆さんに喜んでいただけるよう工夫していきたいと思えます。

「福祉学校」

今年度は、地域福祉活動の理解と参加促進を図ることを目的として開催しました。コロナ禍の状況を鑑み、会場視聴と動画配信という2つの形式で実施しました。映像資料を活用した開催は初の試みになります。参加者の方々からは、「これから視野を広げて学んでいきたい」、「地域に色々参加していきたい」といった感想をいただいています。



お詫びと訂正

しゃきようだより 10月号 Vol.170 について

3ページ 赤い羽根共同募金報告の一部に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- ・身近な地域の福祉活動のために

訂正前 12,859,298 円 訂正後 22,333,298 円

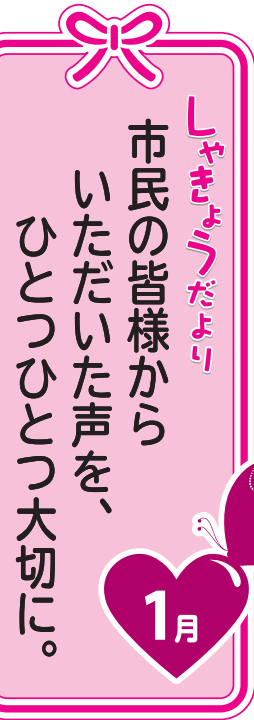
- ・歳末たすけあい運動 戸別世帯への支援として

訂正前 7,159,150 円 訂正後 6,827,150 円

8段目 訂正前 重度障がい者世帯見舞金贈呈事業 663,000 円

訂正後 認知症高齢者介護者世帯への見舞金贈呈事業 331,000 円



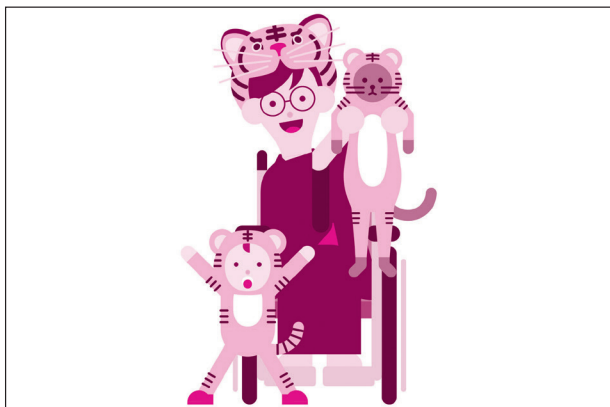


たくさんのご感想をいただきました！
その一部をご紹介します！

- 第五次地域福祉活動計画がなぜこのように定められたのか詳しく書いてあって読みやすかったです！福祉のことを分かりやすく知ることの出来るお便りだと感じています◎(20代)
- 赤い羽根共同募金が社会の役に立っていると漠然と理解していましたが、しゃきょうだよりには「どんな活動に、いくら、どのように」利用されているのかが書いてあり、安心しました。自分が募金したものがしっかり役立てられているのが分かると、心が温かくなりますね。ぜひ、未来ある子どもたちや、お年寄りの方が過剰しやすくなる社会のために役立てていただきたいです。(30代)
- 市民の意志を形にするお便り。いつも拝見させていただき地域のお役に立てればと考えるきっかけ作りになっています。(50代)
- 毎朝、ラジオ体操を始めてから3ヶ月になります。歩道の落ち葉を掃いたり、ゴミを拾ったり、私の知らない活動している方がいることを知りました。その方々と「おはようございます」の一言だけでも1日元気になれます。(80代)
- 「しゃきょうだより」や「こころの便り」です。社会福祉協議会とは、堅苦しく感じますが私でも中を読んでもみたくなるお便り。家にいる時間が多かったのでゆっくゆっく読んで読んで頂きたい。(80代)

ちがうところはどこ？

上と下の絵で5つのちがうところをさがしてね！



ちがうところはどこ？
10月号(vol.170)答え

- ①男の子の髪の色
- ②男の子の靴の色
- ③猫の色
- ④おばあちゃんのメガネの色
- ⑤女の子の服の色

クイズに答えて Present プレゼント!

山形市総合福祉センター
「かすみが温泉」
利用券(4名分)
抽選で20名様

○に当てはまる文字を入れてください。
ヒントはP3をよくみてね

クイズ：第五次地域福祉活動計画スローガン3は？
「わたし・わたしたちは
○○○○○○
となって活動します」

●応募方法/クイズの答えと必要事項を記入し、ハガキまたはメールでご応募ください。当選は発送をもってかえさせていただきます。

●宛先/〒990-0832 山形市城西町二丁目 2-22
社会福祉法人 山形市社会福祉協議会
「地域福祉係」あて

●メールアドレス voravora@yamagatashishakyo.or.jp

応募フォームは
こちらから→



●締切/令和4年1月31日(月)(当日消印有効)

- ①クイズの答え
- ②住所
- ③氏名
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥「しゃきょうだより」の感想

意志あるお金、基金のチカラ。

赤い羽根

10月号(Vol.170)クイズの答え
『意志ある』

10月1日(金)~3月31日(木)



愛ちゃんと希望くん。

社協(しゃきょう)は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は4月号です。